



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1475 2025 年 11 月 25 日

ARIB の動き

日中韓情報通信標準化会議 第 19 回(CJK-19)の概要

日中韓情報通信標準化会議 第 19 回全体会合(CJK-19 Plenary)が、2025 年 11 月 4 日から 6 日まで韓国・ソウルにおいて、TTA(Telecommunications Technology Association)のホストにより開催されました。概要は以下のとおりです。

1. 日 時：2025 年 11 月 4 日（火）～11 月 6 日（木）
2. 場 所：韓国・ソウル、EL Tower
3. 出席者：計 36 名(ARIB*：3 名、TTC：2 名、CCSA：11 名、TTA：18 名、
ゲスト ETSI：2 名)
*ARIB からの参加者：西岡理事(HoD)、川村参与、企画国際部 中野主任研究員
4. 会合の内容、結果
 - (1) 開会
TTA の Daejung Kim 氏が本会合の議長を務め、ホストである TTA を代表して TTA 会長の Seunghyun Son 氏から歓迎の挨拶がありました。
 - (2) SDO 報告
各 SDO から活動状況及び標準化人材育成への取組状況の報告が行われました。
ARIB からは川村参与が、研究開発、電波利用に関する照会相談業務、次世代標準化人材の育成、SDO との協力等 ARIB の活動について紹介し、Beyond 5G/6G、UHDTV 及び ITS の重点取組分野について、最近の動向の説明をしました。
 - (3) Strategic Session
事前の HoD(Head of Delegation)会議で決定した" 6G/AI, Metaverse/Digital Twin, Quantum "を中心に、各 SDO から以下のタイトル及び概要で発表が行われました。
 - ① ARIB:西岡理事
" XGMF Activities for 6G "
日本における XGMF による 6G 推進プロジェクト(AI×通信、ミリ波・NTN、6G 標準化に向けた国際協力など)について説明しました。XGMF 発足と組織構造、国際連携/協力の状況、及び 6G 関連プロジェクトを説明した後、「6G ポジションペーパー ver.1.0」の情報提供を行いました。
 - ② CCSA:Nan Xinsheng 氏
" AI Standardization Activities in China "

中国における AI 標準化戦略(MIIT/TC1、CCSA/TC602 主導)、8 つの AI 作業部会(データ、モデル、プラットフォーム、セキュリティ等)の設立、AI Agent や Embodied AI の研究状況、国際協力などについて紹介がありました。

③ TTA:Boomi Kang 氏、Yongjun Chung 氏

" TTA's Standardization Activities & Direction on AI & 6G "

AI 半導体統合フレームワーク、持続可能で人中心の「Physical AI」構想の説明がありました。AI 信頼性認証(CAT)、G7 PoCG や OCP との連携、国際的なリファレンスとして ISO/IEC の倫理ガイドラインの紹介がありました。

④ TTC:新村茂樹氏

" Strategic Topics "

IOWN 標準化(ITU-T SG13)、L2E2 (低遅延・高効率ネットワーク)、メタバース標準化(Resolution 105、JCA-MV)、量子技術および QKD 標準化について紹介がありました。

⑤ ETSI:Jan Ellsberger 氏

" Strategic Session (6G/AI, Metaverse/Digital Twin, Quantum) "

6G 標準化に向けた取組み、Trustworthy AI(TC SAI)、新設の TC Quantum Technologies の活動について紹介がありました。EU デジタル戦略および AI Act に整合した政策の説明があり、CJK との協力の呼びかけがありました。

各発表について質疑が活発に行われました。なお今後の取組についても議論を継続することで合意しました。

(4) WG 報告

各 WG から、取組、活動内容、成果、今後の計画等について報告されました。

① IMT WG (TTA:Seong-Jun Oh 氏)

IMT-2030 に関する ITU-R WP5D 対応の調整状況等が報告されました。前回議論となった WG での NTN (非地上系ネットワーク) も含めることに関する WG での議論状況について質問が出ましたが、継続議論していくとの回答がありました。

② IS (Information Security) WG (TTA:Heung-Ryong Oh 氏)

AI セキュリティ、ブロックチェーン、DLT の標準化や ITU-T SG17 への共同寄書について報告されました。

③ WPT (Wireless Power Transmission) WG (TTA:Yongju Park 氏)

ワイヤレス給電の効率、安全性、APT・ITU-R との周波数調整議論について報告されました。

④ NSA (Network Service Architecture) WG

報告無し。本 WG は数年間活動しておらず、各 SDO から継続の要望がないことから、本 WG の廃止が承認されました。

⑤ TACT (TTA-ARIB-CCSA-TTC, 会合運営管理) (TTA:Kihun Kim 氏)

TACT の活動が報告され、グループ継続が確認されました。

⑥ ITS Ad Hoc Group (TTA:Seong-Il Michael Park 氏)

昨年来 ITS Ad-hoc WG の活動がなかった旨報告され、Ad-hoc WG の設置期間延長、およびオンラインワークショップの実施が提案されました。Ad-hoc の 18 か月延長が承認され、ワークショップ開催に向けては Ad-hoc でのスコープ明確化に対する要望が

ありました。各機関が連絡窓口情報を Park 氏に連絡することになりました。

(5) 新 WG(Media)設立提案 (TTA:Choi Kwangpyo 氏)

メディアコーデックを対象とした Media WG 設立が提案され、各 SDO からは下記のコメントがありました。

- ・ CCSA : メディアコーデックは別団体の所掌. CCSA の所掌外で WG 参加できる専門家がない
- ・ ARIB : 現時点で ARIB 会員からの参加希望無し. ワークショップ実施に当たってはスコープ明確化が必要. 現時点で専門家の参加は不確実
- ・ TTC : 韓国側から、活動に興味を持つ日本企業・専門家の情報提供あればコンタクトすることは可能

上記を踏まえ、議長より、まずメディアコーデックのアドホックグループ設置が提案され、本会合では、TTA の Choi 氏を主担当として、Media Ad-hoc Group の設立が合意され、ToR 検討と専門家の発掘を進めることが確認されました。各 SDO に対し、窓口担当者の Choi 氏への連絡が推奨されました。

(6) Closing

次回の日中韓情報通信標準化会議 第 20 回(CJK-20)は、2027 年に（開催時期検討中）、ARIB と TTC のホストにより、日本（開催地検討中）で開催される予定であることが発表されました。



会合の様様



集合写真

XGP フォーラム第 42 回総会の結果について

XGP フォーラム第 42 回総会が、2025 年 11 月 14 日に開催されました。概要は以下のとおりです。

1. 日 時：2025 年 11 月 14 日(金) 16 時～17 時 30 分
2. 場 所：ARIB 第 2・3 会議室
3. 出席者：岩田秀行議長(TTC 専務理事)、岡野直樹副議長(ARIB 専務理事)、上村治副議長
(ソフトバンク(株)渉外本部スペクトラムポリシーエグゼクティブ)、会員企業代表など 33 名
4. 主な議論(30 周年のシンボルマークを除き承認)
 - (1) 前回議事録確認
 - (2) 2024 年度の活動報告
事務局、BWG、TWG (AdHoc22 SWG を含む)、PWG、会計報告、監査報告
 - (3) 2025 年度の活動計画
事務局、BWG、TWG (AdHoc22 SWG を含む)、PWG、予算
30 周年のシンボルマークについては、別途総会全メンバーによるメール投票を行って決定します。
5. 特別講演
総会審議終了後に下記の 3 つの講演が行われました。
 - ・“ご挨拶”
総務省総合通信基盤局電波部移動通信課 課長補佐 田野正行氏
 - ・“OCX Mobile Access の紹介と sXGP 活用に向けた取り組み”
BBSakura Networks 株式会社 取締役 兼 CTO 日下部雄也氏
 - ・“プロのための DX にセルラー技術を活用「sXGP」”
パナソニック ホールディングス株式会社 DX・CPS 本部 デジタル AI・技術センター
ワイヤレスネットワークソリューション部 課長 金澤岳史氏



総会



特別講演

NICTとARIBの連携・協力推進に関する連絡会を開催

国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)と一般社団法人電波産業会(ARIB)が締結した連携・協力の推進に関する協定に基づき毎年1回開催している連絡会の第13回を、去る11月19日(水)に開催しました。本協定は、研究開発や標準化などにおいて両機関の連携・協力を強化するため、2013年3月12日付で締結されたものです。今年、NICTの主催で総勢35名が参加し、両機関の活動及び協力の状況を紹介するとともに、連携・協力の更なる推進について意見交換を行いました。



NICTとARIBの連携・協力推進に関する連絡会の様子



挨拶する NICT 理事 山口氏（左）と ARIB 専務理事 岡野氏（右）

第 217 回 ARIB 電波利用セミナーを開催 「電波監視における現状と課題」

11 月 20 日（木）に第 217 回 ARIB 電波利用セミナーをオンラインセミナーとして開催しました。

総務省総合通信基盤局電波部電波環境課監視管理室課長補佐の河間善之氏を講師にお招きし、「電波監視における現状と課題」と題してご講演いただきました。

ご講演では 5G の普及や技術の向上による高周波数化や、太陽光発電設備と LED による混信及び、NTN の新たな無線システムなど、従来の電波監視では対応が難しい新たな課題に対し、監視設備、監視手法及び、運用体制の検討状況についてご説明いただきました。

当日は、約 50 名の会員の皆様が参加され、オンラインでご聴講いただくとともに、活発な質疑応答が行われました。

なお、講演資料は、当会ホームページ内「ARIB 会員のページ」の <https://www2.arib.or.jp/aribmem/seminar/konwakai/index.html> において公開を予定しております。



総務省 河間氏

ARIB 内会合（11 月 24 日～11 月 28 日）予定

11 月 26 日（水）：第 346 回技術委員会（通信分野）

Web 会議併用

国際会合（11 月 24 日～11 月 28 日）予定

11 月 19 日（水）～11 月 28 日（金）：ITU-R WP5A（ジュネーブ）

Web 会議併用

総務省などからのお知らせ

周波数割当計画の一部を変更する告示案等に係る意見募集 －自動運転の実現に向けた 5.9GHz 帯の周波数変更に係る制度整備－ 【令和 7 年 11 月 14 日発表】

総務省は、自動運転の実現を支える通信環境の確保等に向け、電波法に基づく特定周波数変更対策業務により 5.9GHz 帯の周波数変更を行うための周波数割当計画の一部を変更する告示案等について、令和 7 年 11 月 15 日（土）から同年 12 月 15 日（月）までの間、意見募集を行っています。

詳細については[【令和 7 年 11 月 14 日の総務省報道資料】](#)をご覧ください。

「新世代モバイル通信システムの技術的条件」のうち「高高度プラットフォーム（HAPS）の技術的条件」 －情報通信審議会からの一部答申－ 【令和 7 年 11 月 14 日発表】

総務省は、令和 7 年 11 月 14 日（金）、情報通信審議会（会長：遠藤 信博 日本電気株式会社 特別顧問）から、平成 28 年 10 月 12 日付け諮問第 2038 号「新世代モバイル通信システムの技術的条件」のうち「高高度プラットフォーム（HAPS）の技術的条件」について一部答申を受けました。

詳細については[【令和 7 年 11 月 14 日の総務省報道資料】](#)をご覧ください。

超短波放送（FM 放送）を行う中継局の免許の申請の受付 【令和 7 年 11 月 17 日発表】

総務省は、令和 7 年 11 月 18 日（火）から同年 12 月 18 日（木）までの間、超短波放送（FM 放送）を行う中継局の免許の申請を受け付けています。

詳細については[【令和 7 年 11 月 17 日の総務省報道資料】](#)をご覧ください。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<https://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp